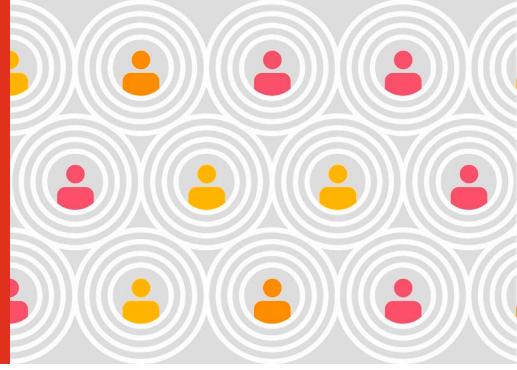
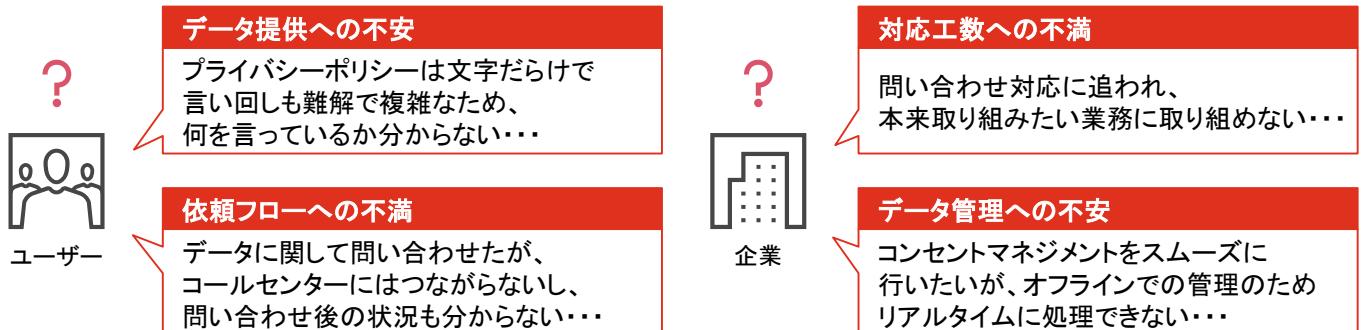


プライバシーに関する ユーザーエクスペリエンスの高度化支援



プライバシー対応への課題

データの重要性が高まり、企業によるパーソナルデータの収集や活用が進む中、データの提供者であるユーザーは情報提供に対して敏感になってきており、その結果、情報を収集する企業では、問い合わせや管理などの管理工数が増えています。



プライバシー対応を取り巻くトレンド

プライバシーを取り巻く環境は年々変化しており、関連法規が厳格化するとともに、人々の意識も変わり、パーソナルデータは自身で管理するものになってきています。またテクノロジーの進化によりプライバシー対応の仕組みを各社で構築できるようになり、企業におけるプライバシーへの対応状況が企業の競争優位を作り出す状況になってきています。



Political



Economical



Social



Technological

関連法規の厳格化

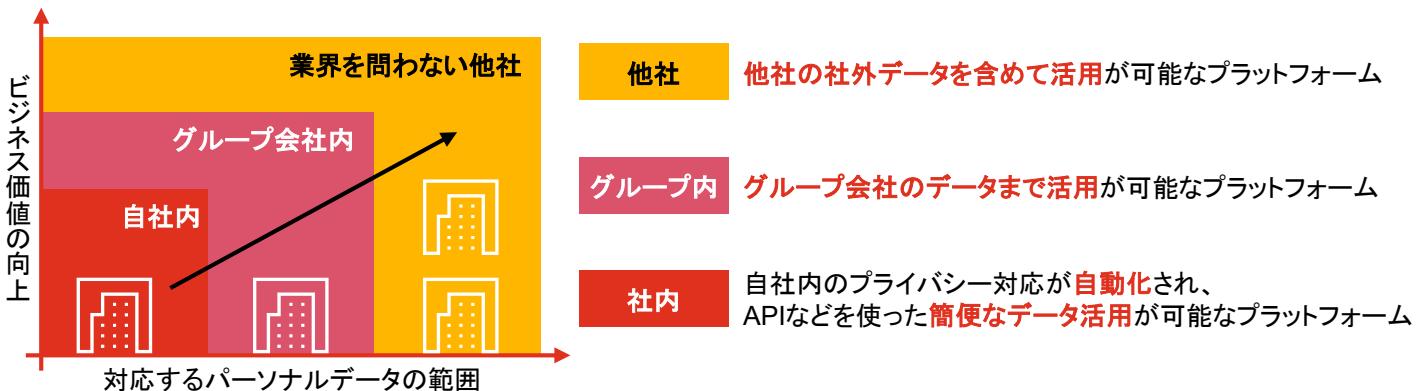
プライバシー対応が
他社との差別化要素に発展

ユーザーがデータを
自己管理する意識の向上

各種技術(PDSなど)
の整備が進行

データ活用ドライバーのためのプライバシー対応

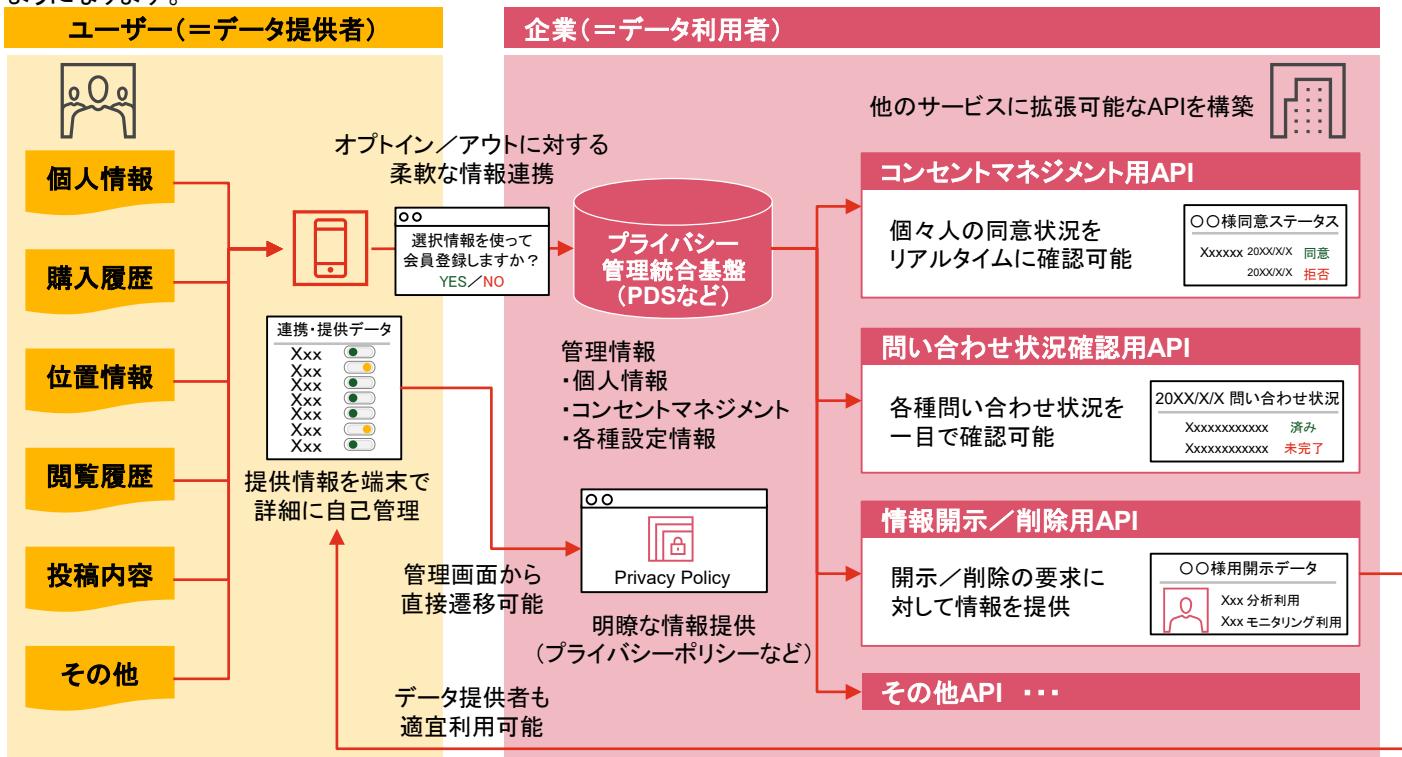
プライバシー対応が進めばユーザーからの信頼が厚くなり、取得可能データも増加します。ただしこれらのデータを他社と共有／活用可能にしてビジネス価値を最大化するには、自社内から順にデータ活用プラットフォームを整備していく必要があります。





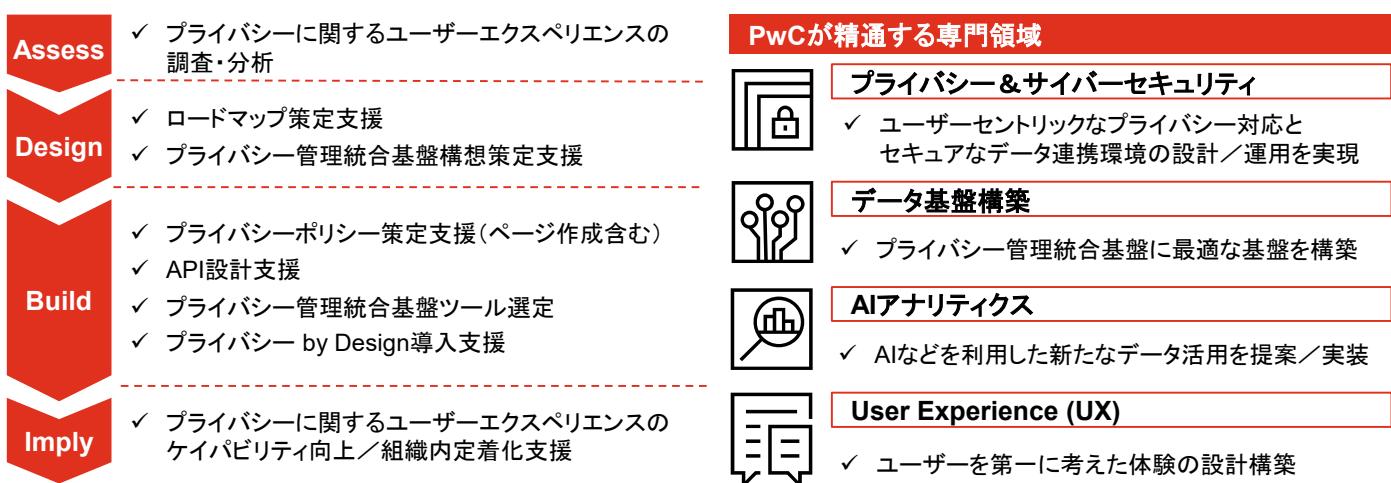
プライバシー管理統合基盤

プライバシー管理統合基盤を構築すれば、ユーザー側は自らの端末で提供データを管理し、柔軟に情報を連携できるようになります。一方、企業側は、連携されたデータを本基盤で集中管理し、用途ごとに整備されたAPIを通じて、容易に利用できるようになります。



PwCの提供するサービスと優位性

プライバシー管理に関するどのような課題にも対応可能なサービスを揃えており、アセスメントを通じて発見されたクライアントの課題に応じて、各領域の専門家が対応します。



お問い合わせ先

PwCコンサルティング合同会社
東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング
電話(代表) 03-6250-1200

林 和洋 パートナー	080-3530-3393 kazuhiro.hayashi@pwc.com
藤川 琢哉 パートナー	080-3358-8502 takuya.fujikawa@pwc.com